

日高

HIDAKA

医療管理講習会

日時：平成25年10月26日(土)午後1時～午後4時
場所：「新ひだか地域交流センター

ピュアプラザ」(新ひだか町)

日高歯科医師会主催の「救命処置とAEDの実習」が開催された。本会では、5年連続の救急救命の講習会でした。参加者は歯科医師、スタッフ合わせて58名でした。日高町立門別国民健康保険病院院長 大友透先生が講師、日高管内の救急救命士、救急隊員そして看護師がインストラクターとして紹介されました。

初めに、一次救急救命の概略についてデモがあり、その後それぞれブースに分かれて心肺蘇生法やAEDの使用法についてトレーニング用マネキンを用いて実技を行いました。

次に歯科治療中に生じる誤嚥とその対応についての講義がありました。実際の診療室で患者さんが倒れた状態、または口腔内落下物での窒息状態を想定しての意識確認から窒息解除、一次救命処置とAEDの使用とその後の救



急救命隊へ引きつぎまでの実技を行いました。参加者からは、「毎年の講習会であったが、より理解を深めた有意義な時間だった。」等の声が多数聞かれました。本会では、救急救命の講習会を今後も継続して開催する予定です。(青山哲也記)

地区別社保勉強会

日高東部地区 10月29日(木)19:30～21:00 浦河イン
日高西部地区 10月31日(土)19:00～20:30 富川シティホテル
日高中部地区 11月5日(水)19:00～20:30 ピュアプラザ
谷本亮理事と舟木理一郎理事を講師に地区別社会保険勉強会が開催された。

各々の会員の診療に戸惑うことなどが質疑された。(波川博明記)



旭川

ASAHIKAWA

旭川歯科学院専門学校 体育祭・学校祭

10月12日～13日、旭川歯科学院専門学校の体育祭と学校祭が行われました。12日の体育祭は、各学年チームと職員・運営委員合同チームが総当たりで戦いました。しっぽ取りゲーム、ドッジボールとも経験と体力に勝る学生が有利。職員・運営委員は遠慮なしの学生の前に手も足も出ない惨敗でした。3試合にやっと梅津、中港、辻の旭歯野球部Aチームトリオの活躍でなんとか勝利を手にする事が



できました。障害物リレーでは、途中のクイズが落とし穴でした。歯科学院のトイレの個室の数? 運営委員長でさえわかりません。委員のスキルを試されるようなゲームでした。合同チームは期待を裏切らず最下位でした。

翌13日は学校祭。駐車場では学生たちの焼きそば、焼き鳥などの屋台、校内でブラッシング指導、手形作りの体験実習、パーラー、歯ブラシ等の販売が行われました。運営委員も「元祖・本場たこ焼き」や型抜き等の出店をしました。たこ焼きは徹夜で準備した関西出身の松山先生が一人で悪戦苦闘、開店直後は商品価値ゼロ。どんどん色が悪くなるのがわかりました。その後三浦、森山両先生が参加し、「大阪トリオ」の活躍で美味しいたこ焼きの量産が可能になりました。青のりかけ過ぎとのクレームもありましたが、大盛況で常に人が並んでいる状態でした。

美唄

BIBAI

扇谷明典先生顕彰

当会会員扇谷明典先生が、80才以上で北海道歯科医師会在籍50年以上の永年会員として功労があったとして、平成25年度北海道歯科医師会功労会員顕彰を受賞された。

故雨田元会長のもと20年の長きにわたり当会専務理事を、又、15年間北海道歯科医師会代議員を勤められた。闘病中ではあるがお元気で、今なお当会会員の精神的支柱である。今後共宜しく御指導をお願い致します。(小森英世記)

平成25年度 美唄歯科医師会 学術講演会

日時：平成25年10月31日(木)19:00～20:30
場所：美唄ホテルスエヒロ

講師：医療法人社団みかみ歯科・矯正歯科
医院 院長 三上 格 先生

演題：歯周治療が得意な医院作りをめざして
—SPT期の治療について—

標記日時に今年度の学術講演会が行われた。歯周治療を我々歯科医師と歯科衛生士との協働治療として捉え、歯周病の原因除去を様々な方法にて行い、その後SPTにてサポートしていく院内のシステム構築、さらにSPT期に患者の炎症及び力のコントロール(特にオ



華さにつられて母親にねだる姿も見られました。後夜祭では学生全員で行うビンゴ大会。三浦先生がルールを間違え、一番最初に「ビンゴ!」と叫んで、学生全員からブーイングを浴びるという楽しい一幕で学校祭が終了となりました。本年度の一般来場者数は昨年を大きく上回りました。関係者のみなさまお疲れさまでした。(中館 敬 記)

旭川歯科学院入学試験



クルーザルスプリント使用の方法を中心に)を管理していく方法、最後にはインプラント周囲炎の症例検討などを懇切丁寧にご解説頂きました。三上先生がご自身の診療所にて、日々情熱を持ってケア発想の医院作りに取り組みされている様子が分かる充実した内容でした。

講演後は懇親会が行われました。話題には尽きる事がなく、終了後、私を含めて数人の先生で、美唄焼き鳥を肴に深夜までお付き合い頂きました。(滑川貴彦記)

第45回美唄三師会講演会

日時：11月6日(木)15:00～
場所：コアビバイ市民ふれあいサロン

「ブラークコントロールって何?～正しい歯磨きの仕方～」という演題のもと、講演を行った。そもそもブラークとは何かという話から始まり歯ブラシの種類・歯間清掃補助道具の必要性・セルフケアとプロフェッショナルケア・唾液について・虫歯や歯周病になぜなるのかなど話は多岐に及んだ。(岩本友理子記)

た。午前9時より歯科学院専任教員と運営委員面接担当者によって打ち合わせをし、担当する各々の受験生についての留意点など細かに話し合いました。

本年度は推薦入試34名、一般入試6名で計40名の受験者がありました。午前10時から3会場に分かれ約2時間面接を行ないました。午後からは特待生学科試験が行われました。選抜会議において推薦受験者は大きな問題のある者はいなく全員合格、一般受験者では3名の合否ボーダーラインの者がおりましたが、うち内申点と面接点が明らかに低かった者を総合的に判断して1名不合格としました。特待生学科試験においては成績上位11名が特待生に選出されました。合格者39名のうち若干名の入学確認が完了されています。定員確